

学校だより 4月号
令和5年4月27日(木)

「誇・光・力」
錦江中！



令和6年度に目指すところ

校長 平國 弘明

令和6年度が始まりました。新入生が36名が入学し、また、8名の職員が着任し、生徒123名、職員20名、計143名で、「令和6年度錦江号」が発車しました。どんな出逢いや経験、成果が得られるか、今から非常に楽しみです。早速ですが、本年度は次のような目標を立てています。

【学校教育目標】「未来を切り拓き、次世代を担う生徒を育成する」

これを生徒向けの目標では、

「よく学び、よく鍛え、よく挑み、誰かの力になれる人になろう」

として、伝えていきたいと考えています。ちなみに第17代生徒会スローガンは

「Challenge Everything ～可能性への挑戦～」

であり、これとの関連も持たせています。この達成に向け、SDGsを意識した、以下のことに重点的に取り組んでいきます。今年度1年間よろしくお願いします。

重点1 安心・安全な環境づくり【SDGs目標ターゲット17及び3】

重点2 豊かな心身・非認知能力の育成・人間性の向上【SDGs目標ターゲット5及び10, 3】

重点3 学び続ける意欲・学力向上・認知能力育成【SDGs目標ターゲット4】

重点4 教職員の資質・指導力向上・人間関係力向上【SDGs目標ターゲット4】

重点5 開かれた学校・家庭や地域等との連携【SDGs目標ターゲット11及び17】

重点6 特色ある教育活動【SDGs目標ターゲット9及び8, 11, 14, 15】



普通にやる 個々の役割を明確にする

何のこと？と思われるかも知れないが、これは、2023年プロ野球日本一になった岡田彰布監督がシーズン中に最も多く発した言葉とシーズンを通して取り組んだことである。

2005年から優勝(ちなみにこのときの監督も岡田氏)から遠ざかっていた阪神が圧倒的とも言える成績で18年ぶりにセリーグ制覇し、しかも3連覇がかかったオリックスに日本シリーズで勝利。実に38年ぶり、昭和60年以来の日本一。昭和60年と言えば、私が大学1年の時である。そんな阪神に岡田氏がどのような変化を与えたのかとても気になっていたの、テレビの特番を観たり、著書を購入したりして、その方針を探ってみた。その中の大きなポイントがタイトルのこの2つではないかと思うのである。監督を引き受ける以前、岡田氏は、阪神を解説者という立場から観ており、チームづくりのヒントをつかんでいた。ただ、大きなてこ入れをする必要はない。優勝するに必要な力は既にあるとも分析していた。まずは、どんなチームにするのか、4番を誰にするかであった。

どんなチームを目指すかに対して、岡田氏は「オーソドックスな野球」。すなわち、投手力を含めた「守りの野球」と答えている。それを徹底することに主眼を置き、攻撃では「1点を取る野球」を求めた。打撃は水物、それなら守りを重視し、失点を防ぐ。そして1点でも多く得点する。極めてシンプルである。次に4番。当初は違う選手を考えていたそうだが、4番には大山悠輔選手を据えた。試合はもちろん練習でも手を抜かない。監督の言葉を借りれば「大山はとにかく真面目な選手よ」である。4番とはみんなが認める選手でなければならないという。「なんであいつが」と言われる選手にはつとまらない。こうして、1点勝ち越せば、鉄壁のリリーフ陣がその虎の子の1点を死守する。1点をもぎ取るために、ボールを見極める。大山選手は打撃成績こそ目立ったものではないが、四球を含めた出塁率は、リーグトップであった。ちなみに打線も3割バットターゼロ、でも得点数はリーグ1だった。打順、ポジションを固定。このことで、それぞれがその打順、ポジションの役割に集中し、チームとしてプレーの質が大きく向上していった。そして、リーグ戦は全部で143試合。勝つこともあれば負けることも当然ある。だからこそ、やるべきことをきちんとやる。気負いすぎたり、優勝を意識し過ぎたりすれば、プロでも普通にやれなくなる。そこで過去の監督としての経験も踏まえて、「**アル**」がスローガンとなった。シーズンは、9月からが山場。監督は「普通にやる」を連呼した。シーズン中に印象に残った試合をあげろと言われても、浮かばないという。全試合が重要であり、かつ普通に戦ったと言えるのではないだろうか。

もうすでに、いろんなことができる能力は、みんなにもある。できることを精一杯やることや当たり前のことをやるということを疎(おろそ)かにしなければ、それぞれの「**アル**」を達成できるはずである。

第17回入学式

4月8日（月）入学式を実施しました。新入生のために限られた時間の中で精一杯会場準備をしてくれた新2・3年生や、堂々と入場し呼名にしっかりと返事する新入生の姿に、頼もしく思うことでした。来賓の皆様、祝詞をいただいた皆様、ありがとうございました。



新入生誓いの言葉

暖かな春の訪れと共に、私たち36人は大根占小、神川小、宿利原小、池田小、徳島県土成小の5校からここ錦江中学校の1年生として入学式を迎えました。本日はこのような立派な式を行っていただきありがとうございます。

今、私たちはこれから始まる中学校生活に期待と不安を胸に抱いています。先月まではそれぞれの小学校に通っていましたが、今日からはこの新しい制服を着て錦江中学校の一員となります。中学校の学習は今までよりも内容が難しくなり、定期テストなど小学校ではなかった事も増えるため不安もありますが、日頃から予習復習等をし、テスト直前で慌てる事のないよう計画的に頑張りたいと思います。

中学校では色々な部活もあります。私は小学校の時から剣道をしており、中学校でも続けるつもりでいます。小学校からの同じ競技をする人もいれば、新しい競技に挑戦する人もいるでしょう。勉強部活、そしてさまざまな行事など新しい仲間と共に精一杯頑張りたいです。



錦江中学校で同級生となったみんなと毎日「楽しい」を念頭に置き、3年間を過ごしていきたいです。私たち新1年生は中学校生活において分からない事だらけです。先生方を始め先輩方、温かく見守り、ご指導くださいますよう、よろしくお願いいたします。

新入生代表 畠中 胡羽

【令和6年度 職員紹介】

校長：平國 弘明		教頭：平屋 大介
1-1 担任	町永 裕子	音楽
1年 副担	川路 凌平	数学 技術(1・2年)
1年副担・ひまわり学級担任	福元 末治	特別支援・社会
2-1 担任	松角 幸恵	国語
2年 副担	湯地 洋明	数学
2年副担・たんぽぽ学級担任	萩原 美幸	特別支援・英語
2年 副担	千田 涼夏	養護教諭
3-1 担任	入佐加寿真	英語
3-2 担任	山下 祐輝	保体 技術(3年)
3年 副担	橋口 愛	理科
3年 副担	大牟礼須賀子	美術 社会
事務職員：前田 駿兵 ALT：アミル ブルース セラノ		
学習支援員：笹貴 貴美代 学習支援員：大久保 徳雄		
SSW：庄屋 真弓 図書司書補：福園 みさき		
用務員：六反田久美子 初任研指導員：宇都 佐和子		

学級 PTA・PTA 総会のお知らせ

5月2日（火）	
学級PTA（各学級）	13：55～14：40
PTA総会（体育館）	14：40～15：40
体育文化後援会（体育館）	15：40～16：00
PTA専門部会	16：10～16：40

【5月の主な行事】(予定)

2日（木）	学級PTA・PTA総会
8日（水）	3年第1回実力試験（～9日）
14日（火）	耳鼻科検診
15日（水）	錦江探訪（2年）
16日（木）	地区陸上競技大会
17日（金）	避難訓練（地震）
21日（火）	錦江探訪（1年）
22日（水）	錦江探訪（3年）
24日（金）	生徒総会
29日（水）	1年宿泊学習（～30日）

【令和6年度 職員紹介】

校長：平國 弘明		教頭：平屋 大介
1-1 担任	町永 裕子	音楽
1年 副担	川路 凌平	数学 技術(1・2年)
1年副担・ひまわり学級担任	福元 未治	特別支援・社会
2-1 担任	松角 幸恵	国語
2年 副担	湯地 洋明	数学
2年副担・たんぽぽ学級担任	萩原 美幸	特別支援・英語
2年 副担	千田 涼夏	養護教諭
3-1 担任	入佐加寿眞	英語
3-2 担任	山下 祐輝	保体 技術(3年)
3年 副担	橋口 愛	理科
3年 副担	大牟礼須賀子	美術 社会
事務職員：前田 駿兵 ALT：アミル ブルース セラノ 学習支援員：笹 貴 貴美代 学習支援員：大久保 徳雄 SSW：庄屋 真弓 図書司書補：福園 みさき 用務員：六反田久美子 初任研指導員：宇都 佐和子		

